

月刊



平成28年9月1日発行 通巻248号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・女性委員会
第26回 全国女性建築士連絡協議会
参加報告 2~3
- ・青年委員会
家族親睦事業報告書
- ・女性委員会 Doシリーズ No.72
新しい木質構造用材料「CLT」を
学ぶ 4
- ・青年委員会 あーき塾
コピックを使用した手書きパース講座
〜手描きパース技術を身につけよ
う〜 5
- ・地区だより 6
大津地区委員会
湖北地区委員会
- ・情報広報委員会
前谷吉伸氏 紹介
- ・建築の春 7
- ・滋賀職能大（ポリテクカレッジ）
からのお知らせ 8
- ・新入会員のご紹介
- ・9月の暦
- ・滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第3回



富田酒造 蔵家屋 店舗

富田酒造は、琵琶湖の最北端に位置する長浜市木之本で、470年以上に渡り酒造りを続けている酒蔵である。天文3年（西暦1534年）頃創業の、全国でも屈指の歴史ある酒蔵で、旧北国街道沿いの風情ある街並みの一角にある。写真にある街道沿いの木造蔵家屋が最も古く、瓦葺き三層屋根、土塀、門のある店構え。表側が店、奥が事務所や食堂、瓶詰め場といった作業スペース、2階が蔵元の住居となっている。この建物の奥には明治初期の築と言われる木造蔵があり、仕込みタンクや搾り、貯蔵といった酒造スペースとして利用されている。

銘柄は賤ヶ岳の合戦で武功を立て秀吉を天下人へと導いた加藤清正、福島正則ら勇猛な七人の若武者「賤ヶ岳の七本槍」に因み、「勝利の酒」「縁起の良い酒」として喜ばれている。また、ラベルの字は逗留した北大路魯山人の手による篆刻を使用している。

十五代蔵元富田泰伸専務の語る「七本槍」のコンセプトは、「地元の酒米を使い、米の品種のブレンドをせず、単一品種で造る事。そして極力濾過をせず、米の旨みがしっかり、それをまとめる酸が骨格を作るような、食中酒」。仕込み時期にあたる冬場に蔵の前を通れば、蒸したお米や新酒の香りに包まれる。街中にあり土地も蔵も限られたスペースの中で、効率のよい作業風景が印象的である。

(前谷吉伸)

□全体報告

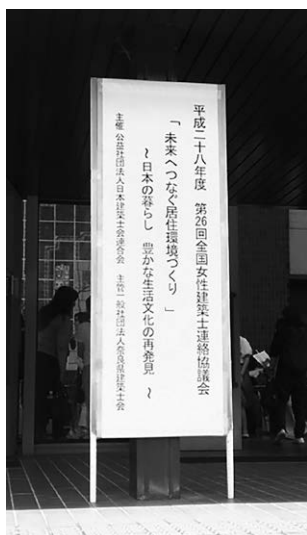
7月22日・23日、奈良県にて第26回全国女性建築士連絡協議会が開催されました。テーマは 未来へつながる居住環境づくり “日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見” です。参加者は364名、滋賀県からは5名の参加でした。

1日目は、奈良女子大学 佐保会館（国の登録有形文化財）での全国女性委員長会議、同講堂での協議会開催でした。

基調講演は、“日本の暮らし 豊かな生活の再発見 - 女性の力で「発見」から「創造」へ -”と題し、岐阜大学名誉教授 渡辺光雄氏にご講演頂きました。現在の狭い二階建て住宅を「魔法瓶生活」と表現され、生活空間を「微感覚」で見直すことの大切さ、和室文化の継承、特に、建具の開閉による空間の変化や、畳の感覚やモジュールの文化、縁側から庭へ広がる「独特の解放感」についてお話しされました。



基調講演



大会案内

パネルディスカッションは、連合会女性委員長永井氏をコーディネーターに、性別年齢等様々な4人による闊達な議論が展開されました。和室のない家で育った若い学生は、和室を祖父母の家にある「おもてなしの空間、正座」ととらえ、他パネリストは和室を「くつろぎの空間、ごろごろする場」と全く違う表現をされました。また、理学療法士の方は、高齢者には畳の暮らし（和式生活）が全身運動になり、寝たきりを防止する、暮らしの中のバリアフリーが必ずしも高齢者にとって良いことではなく、床面生活の復活を唱えられました。

被災地報告は、東日本大震災被災地（岩手・宮城・福島）、鬼怒川決壊による水害の茨城県、地震発生から100日の熊本県が現況報告されました。

2日目は、会場を奈良県春日の国際フォーラム薨へ移し、「防災への取り組み」「エネルギーと暮らし」「歴史的建造物と建物再生」「環境共生住宅～住み継ぐ～」 「景観まちづくり」 「子どもと住環境」「高齢社会と福祉住宅」「二地域居住の提案」の8分科会に分かれて、事例報告・討論会を行いました。

各分科会代表による発表、全体総評、平成28年度全国女性建築士連絡協議会アピールと続き、最後に被災地熊本県へ募金箱が手渡されました。熊本県女性委員長の涙ぐむシーンでは、震災による傷がまだまだ癒えていないことを感じさせられました。



参加者集合写真

□A分科会：防災への取り組み

神奈川県建築士会 防災委員会では、4年前より「つどう・つくる・つながる・ひろがる」をモットーに、県下各地で防災・減災について考える「避難所シュミレーションゲーム（HUG）」を開催しています。その活動報告を東防災委員長、浦女性委員長が発表されました。

参加者にわかりやすいよう、女性委員会メンバーによる実演もあり、HUG未体験の私でも飛び入り参加できそうでした。他にもDIG（災害を想定するゲーム）や、クロスロード（災害時の対応をシュミレーションするゲーム）についても発表され、日常から防災意識を持つことの大切さ伝えられました。建築士は応急危

険度判定等で訓練を積んでいるので、行政－地域のまとめ役として活動範囲が広げようというお話でした。

他に宮城の、女性会員のいる他県とつながって、1000人でのネット上クロスロード体験や、北海道では、防災のワークショップ（ダンボールを使った応急時のトイレ制作）等、各県での防災意識の高さに感銘を受けました。

比較的災害が少ない滋賀県ですが、日常の防災意識を高め、建築士として社会へ啓発運動ができる様、個人としても建築士会としても勉強し活動することが必要だと実感いたしました。



実演講習

□C分科会：歴史的建造物と建物再生

この分科会は「奈良ならではの・奈良だからこそ」の話が聞けるとあって、総勢71名もの参加でした。

歴史的町並みをつなぐと題して、奈良県橿原市今井町の重要伝統的建造物保存地区内での住宅改修事例、住環境の改善を軸に行った具体的な事例発表でした。地域で集住して住む為の暗黙のルール、避難時には隣り合う双方の敷地から避難できる工夫など、興味深い話を聞くことができました。奈良には歴史的建造物が多く、築100年・200年程度では「新しい建物」に区分され、特に住宅の保存改修については見落とされる傾向があったと、奈良ならではの話が印象的でした。

午後からのエクスカーションはテーマが『大人の修学旅行』、その中の「庭園めぐり」に参加しました。奈良公園や依水園・古城園、そして最後には興福寺の国宝阿修羅像に圧倒され、奈良の奥深い魅力に触れることができました。



庭園めぐり

青年委員会

家族親睦事業報告書

8月6日(土)に、青年委員会の家族親睦事業として、滋賀県立びわ湖こどもの国でバーベキューを行いました。天候にも恵まれ、最高のバーベキュー日和でした。

今回は、高島地区様に地元のとれたての野菜に美味しいお肉をご用意頂きましたので、高島の食を堪能しながら、会員同士の会話もはずみ、楽しく親睦を深める事が出来ました。途中のイベントのすいか割では、意外に参加したいお子さんが多く、根強い人気に少しだけ驚きつつ、みずみずしく甘いすいかをみんなで美味しく頂きました。

参加して頂いた皆様、設営にご協力頂いた高島地域会さま、本当に有難うございました。



新しい木質構造用材料「CLT」を学ぶ

土高い断熱・遮音・耐火性を持ち、ヨーロッパを中心として発展してきた木質構造用材料「CLT」は、ヨーロッパ諸国だけでなく、カナダやアメリカをはじめ、近年は各国で急速な伸びを見せています。日本でも持続可能な木質資源の利用による環境性能の高さが注目され、特に滋賀県でもこれからの期待が高まる中、女性委員会でも勉強の機会を持ちます。国内初となる量産型のCLT工場が、今年の4月から岡山県真庭市にある銘建工業株式会社で稼働を始めました。稼働の様子だけでなく、CLTの特徴や日本での取り組みの実例、普及に向けての課題など、講演いただきます。2日目には、倉敷市の街並保存地区を散策し、大原美術館をはじめ倉敷アイビースクエア、そして備前市では国宝を有する旧閑谷学校の見学をします。みなさまのご参加をお待ちしています。



参考写真：CLTつくば実験棟

●開催日時：平成28年11月26日(土)～27日(日)

●研修場所：岡山県真庭市 銘建工業株式会社 他

●定員：35名（先着順）

●CPD単位：取得予定

●参加費：会員 25,000円 会員外 30,000円

参加申込及び参加費事前振込をもって受付完了とさせていただきます。

申込欄に記入いただいたFAX又はメールの宛先へ参加費事前振込のご案内をお送りいたしますので、入金をお願い致します。

●行程：

（1日目）近江八幡駅南口出発（7:00）＝大津駅前公園（8:00）＝昼食（11:50～13:00勝山のれん街）＝銘建工業株式会社 視察・研修・講義（13:30～16:30）＝倉敷ステーションホテル チェックイン＝懇親会
 （2日目）ホテル出発（9:00）＝倉敷美観地区散策・大原美術館その他・昼食（～12:30倉敷アイビースクエア内）＝旧閑谷学校（13:40～14:40）＝大津駅前公園（18:00）＝近江八幡駅南口（18:50帰着予定）

●申込締切：平成28年11月8日(火)

※出発時間の10分前には集合して下さい。

※当日連絡先：090-5164-8786（小川）

DoシリーズNo.72 新しい木質構造用材料「CLT」を学ぶ 参加申込用紙

会員／会員外	氏名	FAX又はメールアドレス	乗車場所
			近江八幡・大津
			近江八幡・大津

※取得した個人情報、DoシリーズNo.72の事業以外には使用しません。

お申し込みはFAXにて…公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局〈FAX.077-523-1602〉（お問い合わせは…TEL.077-522-1615）

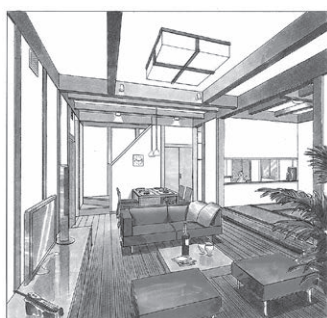
共催／滋賀県建築士会 湖東地域会

コピックを使用した手書きパース講座 ～手描きパース技術を身につけよう～

今年度の最初のあーき塾として、一級透視図技能士であり、スペースデザインカレッジや京都建築大学校でも講師をされている有限会社 アサダデザイン事務所の浅田 能男氏をお招きし、お施主様に喜んでもらえるプレゼン力を身につけるための、『コピックを使用した手書きパース講座』を開催します。

プランや図面を書いても、お施主様にその内容が伝わらない事ってありますよね。プレゼンテーション等によく使われる手法の、「ペンで描いてコピックで着色する方法」を学んで頂き、今後の仕事に役立てて頂きたいと思います。外観や内観、建築・インテリアエレメント等の書き分け方など、わかりやすく教えて頂けます。施工の打ち合わせ等においても、お施主様にも納得頂き、打ち合わせがスムーズに行くスキルかと思えます。

一日の長い講習となっていますが、内容も濃く、技術も身につく講座ですので、是非ご参加ください。



講師プロフィール：

(有)アサダデザイン事務所 浅田 能男 氏
スペースデザインカレッジ（SDC）講師
京都建築大学校（KASD）講師



開催日時：平成28年10月5日(水)

10時30分（受付10時15分）～17時00分

開催場所：ヤンマーミュージアム研修室

参加費：建築士会会員・本会及び湖北地域会賛助会員（1名まで）・学生：500円

建築士会非会員・上記賛助会員（2名以降）：2,500円

講義にて使用するコピックを所持していない方は、当日購入して頂くようお願いいたします。

コピック8本：2,160円 当日欠席された場合においてもコピックの購入代金はお支払い下さい。

内 容：10時15分 受付開始

10時30分 開会

10時35分 手書きパース講座（300分）

17時00分 閉会

CPD単位：取得予定

定 員：40名（定員になり次第締め切ります）

申込締切：平成28年9月23日(金)

申込方法：FAX 077-523-1602、または、

(公社)滋賀県建築士会ホームページ shiga-sa@mx.bw.dream.jp 催し物 からお申込み頂けます。

あーき塾 コピックを使用した手書きパース講座 ～手描きパース技術を身につけよう～ 参加申込用紙

お名前	勤務先	連絡先（TEL）	連絡先（メールアドレス）
所 属	会員・会員外・湖北地域会賛助会員・学生	コピック購入	有・無

※申し込み頂いた個人情報に関しましては、今回のセミナーでのみ使用させていただきます。

お申し込みはFAXにて… 公益社団法人 滋賀県建築士会 事務局 **FAX.077-523-1602**（お問い合わせは… TEL.077-522-1615）

大津地区

2016びわ湖大花火大会鑑賞会

大津地域会は8月8日(月)、2016びわ湖大花火大会鑑賞会を行いました。会員同士の交流と普段お世話になっているご家族への感謝を込めて100名を超える参加者が集いました。近年荒天が続いたりもしましたが、今年は天候に恵まれて美しい花火をみることができました。



湖北地区

H28年度 第2回勉強会

平成28年7月20日、確認審査機関ビューローベリタスジャパン(株)名古屋事務所の方にご依頼申し上げ「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）概要説明」をテーマにセミナーを開催させていただきました。建築物におけるエネルギーの消費量が著しく増加していることは周知の通りです。省エネを一層進めるため、2020年までに新築住宅・建築物について段階的に省エネ基準への適合を義務化することが閣議決定されていますし、近年では設計者として当然理解しておかなければならない問題です。今回、

長浜市役所内コミュニティルームをお借りし募集させていただきましたが、その意識の高さを物語る様に多くの方にご参加いただき盛況にて終えることができました。今後も積極的にセミナーを開催し、建築に携わる者として積極的に勉強していかなければならないと感じました。最後にご協力いただきました関係者様各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。



情報広報委員会

シリーズ「滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて」では、前谷吉伸氏（まえたによしのぶ）に取材、寄稿のご協力を頂いております。

前谷吉伸氏 プロフィール

前谷酒店 酒舗まえたに 四代目。滋賀県生まれ、36歳

関西大学大学院修了。建築学修士。建築都市設計研究室にて3年間、酒蔵建築、酒造空間、酒造工程と酒蔵の関係性及び空間特性について研究。

「灘五郷および伏見における酒造空間の変容に関する研究」（2005年日本都市計画学会学術研究論文集）

「灘五郷および伏見における街区構成と土地利用の変化 酒造空間研究」（2005年日本建築学会学術講演梗概集）

2005年浅井謙建築研究所(株)入社。2008年より現職。

2012年小江戸ひこね町屋情報バンク共同設立、事務局長に就任。現在まで市内に残る町屋の保全、利活用、売買のマッチング等の活動を行っている。2016年 デザイン事務所「ななまち」設立。

滋賀の地酒専門店「前谷酒店 酒舗まえたに」 彦根市船町5-10

定休日：日曜、営業時間：9時30分～20時

電話：0749-22-0575 HP：<http://maetani.biz>

取扱銘柄：浪乃音、七本鎗、藤兵衛、三連星 他県内地酒16蔵直取引、100種以上の品揃え



若き建築士たちの熱き思いを、取材を通してご紹介していく新シリーズ「建築の春」です。

第五回

福原 裕人 さん

彦根地区（イナムラスタジオ建築事務所）

持続可能な社会に向けての建築

住宅設計に携わってきた福原氏が独立したのは、自分のやりたいことをやらないまま後悔したくない、という思いからだという。やりたいこととは何か。

もともと両親が建築関係の仕事をしていたわけではなかったが、母が住宅雑誌を多く持っていて興味を持った事が建築を志すきっかけとなった。大学では、環境計画学を専攻し既成市街地・集落についての持続可能性に関して研究していた。普段、住宅設計をするにあたり重視することは、まず環境のことを考え、そして構造、デザインと続くという。「最終的に隠れてしまうコストがかさむが、断熱性能等の仕様をできる限りよくしてきた。商売を維持するため競争に勝てるように少しでも安く売ろうとする傾向にあるが、それをやってしまうと前に進めない。施主はデザインや大きな家を求める傾向にあるが、小さくても内容をよくできたらと思う。若い人が家を建てて子供やその先の代まで住み継がれるようにしたい。デザインは普遍的なものが良いと思う。」

また建築の仕事をする中で、ひとつの家を建てるときに、なぜ地域・地球を考えた広い視野で設計されないのか疑問を持ち、そんな家になっていないことに問題を感じているという。「少し前、地球環境の保全、周辺環境との親和、健康で快適な居住環境を理念に掲げた環境共生住宅という言葉が出てきたが、あまり浸透せず下火になった。近年、Q値・C値といった省エネの概念が施主の間にも定着してきたが、結局のところそれは社会や環境に寄与するという側面よりも、光熱費が安くなるなど、個々の建物の役に立つ資本主義の思想が先に立っているように思い、寂しく感じる。社会や環境といった目線での設計と、利他的な精神が必要とされているのではないか。」

そして持続可能な社会に向け、「自らの設計を通じ、世の中や近所の人々がともにシェアされた関係が築かれることが望ましい。分譲地の外構で、コンクリートで固められた敷地を見かける。掃除や草取りが面倒だからかもしれないがそれでは味気ない。地域材を使い、地域の職人さんによって建られ、人との絆・自然とのつながりを大切にしたい、地域に根ざした建築をしていきたい。」



田舎建ての住まいの一角を改装した事務所

事務所名の由来となった「イナムラ」とは、事務所を構える彦根市稲枝地区の旧名で、地域をよくしていきたいという思いから名づけたそう。

イナムラからエコヴィレッジの滋賀モデルが発信されることを期待したい。

（取材 ki. haru）

※エコヴィレッジ：持続可能性を目標としたまちづくりや社会づくりのコンセプト、またそのコミュニティ（ウィキペディアより）



1980年 滋賀県彦根市生まれ
滋賀県立大学大学院卒業後、
建設会社・工務店に勤務
2014年10月 イナムラスタジオ
建築事務所 設立



手がけた物件の外観



手がけた物件の内観

滋賀職能大（ポリテクカレッジ）からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施日	講習時間帯
CH041	構造設計技術（木構造実践編）	¥6,500	10	9/7(水)、14(水)	10:00～17:00
CH031	木造住宅の省エネ設計技術	¥6,500	10	11/9(水)、16(水)※ (日程変更)	10:00～17:00

各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。

講座の概要は <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H28/2016ch.pdf>

ネットでの受講申し込みは http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/seminar_form_mousikomi.html

受講申込書のダウンロードは <http://www3.jeed.or.jp/shiga/college/business/pdf/H28/entry2016.pdf>

「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属
滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)
www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課

TEL: 0748-31-2254

FAX: 0748-31-2255

新入会員のご紹介

地 区	氏 名	地 区	氏 名
湖北地区	三 橋 清 孝	湖北地区	山 本 泰 裕
湖北地区	辻 井 貴 知	湖北地区	一 居 博 樹

9月の暦

1 木 友引		11 日 赤口	二級製図試験	21 水 仏滅	
2 金 先負		12 月 先勝		22 木 大安	秋分の日
3 土 仏滅	近建青「大阪会議」	13 火 友引	情報広報委員会	23 金 赤口	
4 日 大安		14 水 先負		24 土 先勝	第2回 ヘリテージマネージャー育成講座
5 月 赤口		15 木 仏滅	四役・委員長会議	25 日 友引	
6 火 先勝		16 金 大安		26 月 先負	
7 水 友引		17 土 赤口		27 火 仏滅	
8 木 先負		18 日 先勝		28 水 大安	
9 金 仏滅	ヘリテージマネージャー支援委員会	19 月 友引	敬老の日	29 木 赤口	
10 土 大安	第1回 ヘリテージマネージャー育成講座	20 火 先負		30 金 先勝	

滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて
第3回

富田酒造（長浜市木之本町）

今年3月に旧蔵の老朽化と作業効率向上のために新しい醸造蔵が竣工した。
設計監理は、有限会社A. SITE、a cafe、MAFIS_design.による3社JV。施工は㈱材信工務店。歴史と景観との調和から低層の木造を採用し、最新の酒造りのための空間や設備配置を構成している。県内同業者からの注目される新蔵である。今から今冬にこの蔵で醸され発売される新酒が楽しみでならない。

代表銘柄：「七本鎗」

（前谷吉伸）

